

## 2022年度入試・体育・スポーツ系主要大学歩留まり率

	合格者数	入学者数	歩留まり率
筑波大学体育専門学群	256	251	98.0%
鹿屋体育大学	188	184	97.9%
文教大学教育学部	1413	408	28.9%
国学院大学人間開発学部	777	339	43.6%
国土舘大学体育学部	926	587	63.4%
順天堂大学スポーツ健康科学部	1269	619	48.8%
大東文化大学スポーツ・健康科学部	712	334	46.9%
東海大学体育学部	1067	537	50.3%
日本大学文理学部	6412	1972	30.8%
東洋大学ライフデザイン学部	1827	563	30.8%
日本大学スポーツ科学部	605	314	51.9%
日本女子体育大学	796	527	66.2%
日本体育大学	2692	1955	72.6%
法政大学スポーツ健康学部	508	182	35.8%
立教大学コミュニティ福祉学部	1162	409	35.2%
早稲田大学スポーツ科学部	707	386	54.6%
中京大学スポーツ科学部	1746	808	46.3%
同志社大学スポーツ健康科学部	591	229	38.7%
立命館大学スポーツ健康科学部	839	268	31.9%
大阪体育大学	1250	683	54.6%
関西大学人間健康学部	950	346	36.4%
関西学院大学人間福祉学部	809	329	40.7%
武庫川女子大学健康・スポーツ科学部	243	220	90.5%
天理大学体育学部	283	234	82.7%
福岡大学スポーツ科学部	472	299	63.3%

$$\text{歩留まり率 (\%)} = \text{入学者総数} \div \text{合格者数} \times 100$$

※ 歩留まり率が示すもの

併願におけるその大学のポジション。歩留まり率が高く100%に近いようであれば  
それだけその大学を第一志望とする受験生が多いということ。  
傾向として、国立大学は歩留まり率が100%に近い。一方私立大学は国立大学の  
併願受験先になることが多いので、歩留まり率は低くなる。  
また、一般選抜よりも総合型、推薦型の入学者が多い大学は歩留まり率は高くなる。  
各大学のデータを見る際に、この歩留まり率を見ることで第一志望者の合格割合を参考にできる。  
例えば、文教大学教育学部は10人に3人しか第一志望入学者がいないことが分かる。  
上位層が滑り止めとして、押さえてくるため、第一志望者が合格しにくいことがわかる。